

夏を快適に過ごす住まいの暑さ対策

日本の夏は年々暑さが増えています。

そんな猛暑を乗りきるための住まいの暑さ対策をご紹介します!!

住まいは床・壁(窓)・屋根(天井)に包まれた空間です。しかし、そのあらゆる箇所から熱は逃げて(入って)きます。その割合は夏で、窓などの開口部から70%、壁から13%、床から3%、屋根天井から9%、換気から5%の比率で外から熱が入ってきます。



室内



暑い空気は上に溜まりやすいため、エアコンと一緒にサーキュレーターを組み合わせるのがオススメ。冷たい空気が部屋の隅々まで循環することで快適性が高まります。また、サーキュレーターがない場合でもご家庭の扇風機を使えば同様の効果が得られます。

(Point) サーキュレーターはエアコンの対角線上に置き、部屋の中央に向けて上向きで運転。

窓



日差しをさえぎる点ではカーテンも同じですが、カーテンでは窓とカーテンの間に熱が貯まります。これに対しグリーンカーテンは日射の熱エネルギーの80%をカットする効果があるとされ、すだれの遮蔽率50%~60%と比べても大変優れています。(すだれでも効果はあります)

(Point) グリーンカーテンはイデに植物による癒しや窓を解放した時のバセよさ育成の楽しさなどの効果も

内窓



(Point) 冷房効率が向上し、エアコンのエネルギー使用量を減らし、電気代の節約にも

内窓と聞くと、冬の寒さ対策を思い浮かべる方が多いかもしれませんが実は夏にも大きな効果を発揮します。外部からの熱を遮断するため、室内温度の上昇を抑えることができます。また、断熱性能が高いため、室内の冷気が外に逃げにくくなります。

室外



遮熱塗料(高日射反射率塗料)を、屋根・外壁・屋上に塗装すると、夏場の日射がタタいときに熱の吸収を抑制し、建物内部への熱量の進入を抑え、室内温度の上昇を緩やかにします。

遮熱塗料を屋根に塗装した場合、最大で約15~20℃の屋根の表面温度を低下させることができます。建物の形状や立地、使用環境、用途、断熱性により大きく異なりますが、室内では、約1~3℃程度の低減効果が期待できます。一般に室内温度が1℃下がると約10%の空調費が削減できると言われています。また、塗料以外に遮熱材(リフレクティックス)も保温・遮熱性能のある素材で熱線を99%反射させます。

室内外の断熱リフォームは初期費用はかかりますが、長い目で見れば自分でできる対策よりもパフォーマンス(成果)が高いといえます。

工事が必要な対策については

お気軽にご相談下さい😊